

5250 プリントサーバ

TCPLink 接続

Ver.5.06-00

リリースメモ

Windows、Windows Server および Excel は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本  
およびその他の国における登録商標または商標です。

## 目次

[Ver.5.06-00 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.5.06-00 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2022 Standard</li> <li>・ Windows Server 2022 Datacenter</li> </ul>	機能追加	システム全般
2	以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2012 Standard</li> <li>・ Windows Server 2012 Datacenter</li> <li>・ Windows Server 2012 R2 Standard</li> <li>・ Windows Server 2012 R2 Datacenter</li> </ul>	仕様変更	システム全般
3	バージョン情報に、アップデート情報としてパッチの管理番号を表示する機能を追加	機能追加	システム全般
4	画面モードが「カラー」の場合、明滅が指定されている文字を明滅する仕様に変更	仕様変更	ディスプレイ セッション
5	ディスプレイセッションにデータを貼り付ける場合、カーソルを移動しない機能を追加 カーソル移動の有無はプロパティで設定可能  ※エミュレータのプロパティ「ソフトウェアスイッチ"Switch ( 43 )"」が ON の場合、本機能は動作せず、カーソルは移動しない	機能追加	ディスプレイ セッション
6	DDS で定義された以下の機能を強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プッシュボタン</li> <li>・ ラジオボタン</li> <li>・ チェックボックス</li> <li>・ 縦スクロールバー</li> </ul>	機能追加	ディスプレイ セッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
7	<p>ディスプレイセッションへの貼り付け時の動作を IBM 社製端末エミュレータ互換にする機能を追加</p> <p>本機能は、エミュレータのプロパティ「ソフトウェアスイッチ"Switch ( 140) "」で設定可能</p>	機能追加	ディスプレイ セッション
8	<p>IBM 社製端末エミュレータとの互換性向上のため、プリンタのプロパティ「印刷開始イベント」の初期値を変更</p> <p>変更前「フォームフィード」 ↓ 変更後「印刷ジョブ完了」</p>	仕様変更	プリンタ セッション
9	<p>エミュレータのプロパティ「プリンタ定義」 - 「詳細設定」 - 「印刷開始イベント」の「印刷ジョブ完了」がチェックされている場合、特定データ受信で印刷ジョブをクローズする機能を追加</p> <p>※特定データとは RFC2877 で公開されている「Null Print Record」のことを指します。</p>	機能追加	プリンタ セッション
10	<p>編集形式「印刷コマンドファイル」で SCS ASCII 透過 (ATRN) コマンドをサポート</p>	機能追加	プリンタ セッション
11	<p>編集形式「Windows プリンタドライバ」の場合、フォントサイズを拡大できる機能を追加</p>	機能追加	プリンタ セッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
12	マウスホイールの操作で、下記のエミュレータの機能キーを実行する機能を追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PF1～PF24</li> <li>・ SysRq</li> <li>・ タブ、後退タブ</li> <li>・ 実行</li> <li>・ ロールダウン、ロールアップ</li> </ul>	機能追加	ツール
13	エミュレータのプロパティ「通信設定」で、ゲートウェイ種別の選択内容を変更	仕様変更	ツール
14	コードテーブル設定で 1 つのホストコードに対して複数の PC コード、1 つの PC コードに対して複数のホストコードの割り当てが行えるように対応	機能追加	ツール
15	マクロ再生の開始、およびマクロ記録の開始時に、前回指定したフォルダを開くように仕様を変更	仕様変更	マクロ
16	セッション確立を試行するデバイス名の重複を避けるため、デバイス名に特殊文字およびキーワード指定できる機能を追加	仕様変更	ネットワーク
17	ホストコード (0xE9F3、0xE9F4、0xE9F5) を受信した場合、全角スペースで画面表示／印刷される現象を修正	バグ修正	システム全般
18	プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合、イベントログが出力されない現象を修正	バグ修正	システム全般

No	概要	VerUp 区分	変更区分
19	「SHIFT」+「F1」キーの押下で状況依存ヘルプを表示した場合、対象をクリック時に「応答なし」になる現象を修正	バグ修正	システム全般
20	Windows のスタートアップに登録した場合、起動できないことがある現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ
21	プリントサーバをサービス登録後、「Host Link Explorer」サービスがエラーとなり、セッションが起動できないことがある現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ
22	STARTPC コマンド実行時、非表示指定されている文字が画面に表示される現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
23	符号付き数字フィールドの符号位置に半角空白文字が指定されている場合、データの最後に不要な半角空白文字を付加し、送信する現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
24	シフト文字（SO）位置にカーソル移動（IC）オーダーが指定されていると、入力可能な位置にカーソルが移動しない現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
25	不要な縦罫線が表示される現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
26	2 バイト文字位置に DDS の WINDOW キーワードで指定されたウィンドウを表示すると、ウィンドウの枠外にシフト文字（SI）が表示される現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
27	START OF HEADER (SF) オーダーが 256 個以上指定された画面に文字入力できない現象を修正	バグ修正	ディスプレイセッション
28	START OF HEADER (SF) オーダーが 256 個以上指定された画面で、ホストヘータ送信するとハングアップする現象を修正	バグ修正	ディスプレイセッション
29	特定の画面を表示した場合、ディスプレイセッションがフリーズする現象を修正	バグ修正	ディスプレイセッション
30	エミュレータ画面に Excel ファイルからデータを貼り付けて送信した場合、ホスト側プログラムでエラーが発生することがある現象を修正	バグ修正	ディスプレイセッション
31	「入力不可」状態で「ATTN」キーを押下した場合、「入力不可」状態が解除される現象を修正	バグ修正	ディスプレイセッション
32	自動送信フィールドで「Field Exit」キー、または「Field+」キーを押下した場合、カーソルが移動せず、「入力不可」となる現象を修正	バグ修正	ディスプレイセッション
33	スタイル設定でディスプレイセッションのツールバーのスタイルを変更した直後、縦方向に 1 つのツールしか表示されない現象を修正	バグ修正	ディスプレイセッション
34	ローカルコピー時にエラーが発生した場合、「セッション番号：0」の余計なイベントログが出力される現象を修正	バグ修正	ローカルコピー

No	概要	VerUp 区分	変更区分
35	編集形式「印刷コマンドファイル」で、罫線指定（DGL）オーダーが指定された場合、罫線がDGLオーダー指定位置に印刷されない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
36	編集形式「印刷コマンドファイル」で、フォント・サイズ・スケール(SFSS)オーダーの標準文字サイズ指定が無視され、直前に指定された SFSS オーダーの文字サイズ（縦倍角／横倍角／縦横倍角）で印刷される現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
37	編集形式「印刷コマンドファイル」で、漢字文字ピッチ指定（SIT）オーダーを指定された場合、半角文字も漢字文字ピッチで印刷する現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
38	編集形式「印刷コマンドファイル」で、1ページの印刷データがラストブロック（0xFFEF）を含む複数レコードで分割されると、ラストブロックで次行の1桁目に移動せず、直前の印刷桁から印刷することがある現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
39	編集形式「印刷コマンドファイル」で、印刷ジョブ名の末尾に付加する連番が更新されず、同じ番号で出力される現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
40	ジョブクローズタイマーが動作すると、プリンタセッションでアプリケーションエラーが発生する現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
41	印刷コマンドファイル(PDF)による印刷で印刷位置ずれ、印刷抜けなどが発生する現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
42	プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合、プリンタセッションにエラーメッセージ「プリントジョブスケジューラ起動に失敗しました」が表示されない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
43	エミュレータ監視ツールのプリンタ出力先とは異なるプリンタに印刷されることがある現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
44	UPF 設定ツールで以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込むと、読み込み前の設定内容が表示されたままになる現象を修正 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメント欄</li> <li>・UPF 使用数</li> <li>・UPF パッドオートサイジング</li> <li>・UPF パッドコメント表示</li> </ul>	バグ修正	ツール
45	「エミュレータのプロパティ」－「プリンタ定義」－「詳細設定」画面の「用紙の種別」で「連続用紙」を選択時、「単票時の自動改ページ」が設定不可にならない現象を修正	バグ修正	ツール
46	エミュレータ監視ツールで表示内容を更新するとアプリケーションエラーになることがある現象を修正	バグ修正	ツール

No.17	ホストコード（0xE9F3、0xE9F4、0xE9F5）を受信した場合、全角スペースで画面表示／印刷される現象を修正
発生条件	ホストコード：0xE9F3("ー")、0xE9F4("～")、0xE9F5("！")を含むデータを画面表示／印刷した場合。
障害内容	対象の文字が全角スペースで画面表示／印刷される。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.18	プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合、イベントログが出力されない現象を修正
発生条件	プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合。
障害内容	イベントログが出力されない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.19	「SHIFT」 + 「F1」 キーの押下で状況依存ヘルプを表示した場合、対象をクリック時に「応答なし」になる現象を修正
発生条件	「SHIFT」 + 「F1」 キーの押下により、マウスカーソルに「？」が表示された状態で、状況依存ヘルプの表示対象をクリックした場合。
障害内容	以下のプログラムがフリーズする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「プリンタセッション」</li> <li>・「プリントジョブスケジューラ」</li> <li>・「マクロコントローラ」</li> <li>・「UPF 設定」</li> </ul>
アップデート 未実施時の 回避策	ツールバーの「↑?(ヘルプ)」ボタンを使用して状況依存ヘルプを表示する。

No.20	Windows のスタートアップに登録した場合、起動できないことがある現象を修正
発生条件	Windows のスタートアップにホストリンクエクスプローラ、またはセッション起動のショートカットに登録した場合。
障害内容	Windows のログオン時に自動起動ができない。
アップデート未実施時の回避策	手動による起動。

No.21	プリントサーバをサービス登録後、「Host Link Explorer」サービスがエラーとなり、セッションが起動できないことがある現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2019 以降を使用</li> <li>・ ローカルセキュリティポリシーのセキュリティオプションで「ユーザアカウント制御: 管理者承認モードですべての管理者を実行する」を「無効」に設定</li> <li>・ プリントサーバをサービス登録で使用</li> </ul>
障害内容	セッションが起動できないため、印刷業務が行えない。
アップデート未実施時の回避策	「ユーザアカウント制御: 管理者承認モードですべての管理者を実行する」を「有効」に設定し、OS を再起動後、プリントサーバをサービス登録する。

No.22	STARTPC コマンド実行時、非表示指定されている文字が画面に表示される現象を修正
発生条件	<p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ STARTPC コマンドを CL プログラムから実行</li> <li>・ WRITE 系コマンドを含むホストデータと、STARTPC コマンドのホストデータがディスプレイセッションに連続して通知</li> </ul>
障害内容	<p>ディスプレイセッションに以下のメッセージが表示されることがある。</p> <p>「必要な PC プログラム(PCO.EXE)が活動状態になっていません。PC と通信することはできません。再開始するためには、実行キーを押してください。」</p> <p>STARTPC コマンド自体は問題無く実行される。</p>
アップデート未実施時の回避策	STARTPC コマンドを CL プログラムから呼び出さず、ディスプレイセッションから直接実行する。

No.23	符号付き数字フィールドの符号位置に半角空白文字が指定されている場合、データの最後に不要な半角空白文字を付加し、送信する現象を修正
発生条件	<p>以下の機能キーで符号付き数字フィールドから移動した場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Er Inp</li> <li>・ Er EOF</li> <li>・ Field Exit</li> <li>・ Field +</li> <li>・ Field -</li> </ul>
障害内容	符号付き数字フィールドデータの最後に、不要な半角空白文字を付加して送信する。
アップデート未実施時の回避策	<p>符号付きフィールドの符号位置をスペース以外でクリアする機能キー（以下）でフィールドを脱出し送信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Er Inp</li> <li>・ Er EOF</li> <li>・ Field Exit</li> <li>・ Field +</li> <li>・ Field -</li> </ul>

No.24	シフト文字 (SO) 位置にカーソル移動 (IC) オーダーが指定されていると、入力可能な位置にカーソルが移動しない現象を修正
発生条件	シフト文字 (SO) 位置にカーソル移動 (IC) オーダーを指定されている場合。
障害内容	入力可能な位置にカーソルが表示されない。 ※文字入力すると入力可能位置にカーソルを移動し、文字が入力される。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.25	不要な縦罫線が表示される現象を修正
発生条件	シフト文字 (SO/SI) を伴わない漢字シフトオーダーが含まれる画面上に、DDS 罫線の追加または消去を指定。
障害内容	縦罫線指定が無い位置に罫線が表示される。 2バイト文字位置に縦罫線が表示される。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.26	2バイト文字位置に DDS の WINDOW キーワードで指定されたウィンドウを表示すると、ウィンドウの枠外にシフト文字 (SI) が表示される現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 ・ディスプレイのプロパティで、[詳細設定] - [SO,SI 文字表示] をオン ・画面位置を占有しない漢字シフトオーダー (12 オーダー) を伴う 2 バイト文字のデータを受信 ・上のデータ受信後、2 バイト文字位置に DDS ウィンドウ枠が重なるデータを受信
障害内容	シフト文字 (SI) が表示される。
アップデート未実施時の回避策	ディスプレイのプロパティで、[詳細設定] - [SO,SI 文字表示] をオフにする。

No.27	START OF HEADER (SF) オーダーが 256 個以上指定された画面に文字入力できない現象を修正
発生条件	START OF HEADER (SF) オーダーが 256 個以上指定された画面の場合。
障害内容	文字入力ができない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.28	START OF HEADER (SF) オーダーが 256 個以上指定された画面で、ホストヘータ送信するとハングアップする現象を修正
発生条件	START OF HEADER (SF) オーダーが 256 個以上指定された画面の場合。
障害内容	ディスプレイセッションがハングアップするため以降の操作ができない。復旧するには PC の再起動が必要となる。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.29	特定の画面を表示した場合、ディスプレイセッションがフリーズする現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範囲指定の情報消去オーダー(ERASE TO ADDRESS)で SA 属性をクリアする画面データを受信</li> <li>・ 上記クリア位置に DDS の WINDOW キーワードで指定されたウィンドウを表示する画面データを受信</li> </ul>
障害内容	ディスプレイセッションが応答なしとなり、当該ディスプレイセッションだけでなく、他のディスプレイセッション、プリンタセッションでも業務続行が不可能となる。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.30	エミュレータ画面に Excel ファイルからデータを貼り付けて送信した場合、ホスト側プログラムでエラーが発生することがある現象を修正
発生条件	エミュレータ画面に復帰コード(0x0D)や改行コード(0x0A)を含むデータを貼り付けて、ホストに送信した場合。
障害内容	エミュレータ画面に復帰コード(0x0D)や改行コード(0x0A)が入力されてホストに送信される。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.31	「入力不可」状態で「ATTN」キーを押下した場合、「入力不可」状態が解除される現象を修正
発生条件	「実行」キーなどでの送信中に「ATTN」キーを押下した場合。
障害内容	「入力不可」状態が解除されるため、送信中に入力できてしまう。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.32	自動送信フィールドで「Field Exit」キー、または「Field+」キーを押下した場合、カーソルが移動せず、「入力不可」となる現象を修正
発生条件	自動送信フィールドで「Field Exit」キー、または「Field+」キー押下により自動送信を行った場合。
障害内容	自動送信時のカーソル位置が実機と異なるデータで送信される。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.33	スタイル設定でディスプレイセッションのツールバーのスタイルを変更した直後、縦方向に1つのツールしか表示されない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスプレイセッションで、ツールバーをボタンが縦に並ぶように配置</li> <li>・スタイル設定でディスプレイセッションのツールバーのボタンを追加、または削除</li> </ul>
障害内容	表示されていないツールをツールバーから起動できない。
アップデート未実施時の回避策	ディスプレイセッションで、ツールバーをボタンが横に並ぶように配置する。

No.34	ローカルコピー時にエラーが発生した場合、「セッション番号：0」の余計なイベントログが出力される現象を修正
発生条件	ローカルコピー時にエラーが発生した場合。
障害内容	「セッション番号：0」の余計なイベントログが出力される。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.35	編集形式「印刷コマンドファイル」で、罫線指定（DGL）オーダーが指定された場合、罫線が DGL オーダー指定位置に印刷されない現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・編集形式「印刷コマンドファイル」で、5577、ESC/P の印刷コマンドファイルが設定されている</li> <li>・複数行に罫線印刷するデータを受信</li> </ul>
障害内容	罫線が DGL オーダー指定位置に印刷されない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.36	編集形式「印刷コマンドファイル」で、フォント・サイズ・スケール(SFSS) オーダーの標準文字サイズ指定が無視され、直前に指定された SFSS オーダーの文字サイズ（縦倍角／横倍角／縦横倍角）で印刷される現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・編集形式「印刷コマンドファイル」で、5577、ESC/P の印刷コマンドファイルが設定されている</li> <li>・標準文字サイズ指定の直前に、縦倍角／横倍角／縦横倍角が指定されている</li> </ul>
障害内容	標準文字サイズが、直前に指定されている文字サイズ（縦倍角／横倍角／縦横倍角）で印刷される。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.37	編集形式「印刷コマンドファイル」で、漢字文字ピッチ指定（SIT）オーダーを指定された場合、半角文字も漢字文字ピッチで印刷する現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・編集形式「印刷コマンドファイル」で、5577、ESC/P の印刷コマンドファイルが設定されている</li> <li>・漢字文字ピッチ指定による複数行の印刷</li> </ul>
障害内容	半角文字が漢字文字ピッチで印刷される。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.38	編集形式「印刷コマンドファイル」で、1ページの印刷データがラストブロック（0xFFEF）を含む複数レコードで分割されると、ラストブロックで次行の1桁目に移動せず、直前の印刷桁から印刷することがある現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・編集形式「印刷コマンドファイル」で、5577、ESC/Pの印刷コマンドファイルが設定されている</li> <li>・直前のラストブロックで印字桁位置が先頭でない場合に、次のラストブロックを受信</li> </ul>
障害内容	次行の1桁目に印刷されず、直前の行の印刷桁から印刷されるため、ラストブロック印刷データのブロック（0xFFEF）単位で、不要な出力位置指定を行うため、印刷結果がずれる。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.39	編集形式「印刷コマンドファイル」で、印刷ジョブ名の末尾に付加する連番が更新されず、同じ番号で出力される現象を修正
発生条件	編集形式「印刷コマンドファイル」を設定している場合。
障害内容	同じ印刷ジョブ名で出力される。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.40	ジョブクローズタイマーが動作すると、プリンタセッションでアプリケーションエラーが発生する可能性がある現象を修正
発生条件	ホストからの印刷データが複数レコードで分割され、印刷データ待ち状態となりジョブクローズタイマーが動作した場合。
障害内容	アプリケーションエラーが発生し印刷できない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.41	印刷コマンドファイル(PDF)による印刷で印刷位置ずれ、印刷抜けなどが発生する現象を修正
発生条件	編集形式「印刷コマンドファイル」で印刷を行った場合。
障害内容	印刷位置ずれ、印刷抜けなどが発生し、正常に印刷されない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.42	プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合、プリンタセッションにエラーメッセージ「プリントジョブスケジューラ起動に失敗しました」が表示されない現象を修正
発生条件	プリントジョブスケジューラの起動に失敗した場合。
障害内容	プリンタセッションにエラーメッセージ「プリントジョブスケジューラ起動に失敗しました」が表示されない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No. 43	エミュレータ監視ツールのプリンタ出力先とは異なるプリンタに印刷されることがある現象を修正
発生条件	プリンタセッション起動中に以下のいずれかの方法でプリンタ出力先を変更した場合。 ・「ツールパネル」-「エミュレータのプロパティ」でプリンタ定義の「基本設定」-「出力先」が「通常使うプリンタ」に設定された状態で、Windows の「デバイスとプリンター」から既定のプリンタを変更 ・「ツールパネル」-「エミュレータのプロパティ」から、プリンタ定義の「基本設定」-「出力先」の設定を変更
障害内容	エミュレータ監視ツールに表示されているプリンタ出力先と異なるプリンタに印刷される。
アップデート 未実施時の 回避策	プリンタセッション起動中に、プリンタ出力先を変更しない。

No.44	<p>UPF 設定ツールで以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込むと、読み込み前の設定内容が表示されたままになる現象を修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメント欄</li> <li>・UPF 使用数</li> <li>・UPF パッドオートサイジング</li> <li>・UPF パッドコメント表示</li> </ul>
発生条件	<p>以下の設定を変更後に、インストール後から変更されていない「UPFTBL32.UPF」ファイルを読み込んだ場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメント欄</li> <li>・UPF 使用数</li> <li>・UPF パッドオートサイジング</li> <li>・UPF パッドコメント表示</li> </ul>
障害内容	<p>読み込み前に設定した内容が表示されたままとなる。</p>
アップデート未実施時の回避策	<p>設定内容を「消去」ボタンで消去する。</p>

No.45	<p>「エミュレータのプロパティ」－「プリンタ定義」－「詳細設定」画面の「用紙の種別」で「連続用紙」を選択時、「単票時の自動改ページ」が設定不可にならない現象を修正</p>
発生条件	<p>以下のいずれかを行った場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「エミュレータのプロパティ」－「プリンタ定義」－「詳細設定」画面の「用紙の種別」で「連続用紙」を選択し、エミュレータのプロパティを再起動した場合</li> <li>・「エミュレータのプロパティ」－「プリンタ定義」－「詳細設定」画面の「用紙の種別」で「連続用紙」を選択し、プリンタ定義の「基本設定」画面で「編集形式」を変更した場合</li> </ul>
障害内容	<p>「エミュレータのプロパティ」ツールで、「詳細設定」画面の「用紙の種別」を「連続用紙」に選択しているが、「単票時の自動改ページ」が設定可能となる。</p>
アップデート未実施時の回避策	<p>特になし。</p>

No.46	エミュレータ監視ツールで表示内容を更新するとアプリケーションエラーになることがある現象を修正
発生条件	エミュレータ監視ツールで、「F5」キーを押下して表示内容を更新した場合。
障害内容	エミュレータ監視ツールが操作中に突然終了する。 プリントサーバの動作に影響はない。
アップデート 未実施時の 回避策	エミュレータ監視ツールの表示内容の更新に、「F5」キーではなく、「自動更新」機能を使用する。

5250 プリントサーバ

TCPLink 接続

Ver5.04-02

リリースメモ

Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

## 目次

[Ver.5.04-02 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.5.04-02 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	以下の OS に対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2016 Standard</li> <li>・ Windows Server 2016 Datacenter</li> <li>・ Windows Server 2019 Standard</li> <li>・ Windows Server 2019 Datacenter</li> </ul>	機能追加	システム全般
2	以下の OS を動作対象から削除 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2008 Standard Edition SP2</li> <li>・ Windows Server 2008 Enterprise Edition SP2</li> <li>・ Windows Server 2008 R2 Standard Edition SP1</li> <li>・ Windows Server 2008 R2 Enterprise Edition SP1</li> </ul>	仕様変更	システム全般
3	Windows イベントログ (Application) に、プリントサーバシステムのイベントメッセージを出力する機能を追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起動・終了</li> <li>・ 通信状態</li> <li>・ プリンタセッションのメッセージ情報</li> <li>・ プリントサーバシステム情報</li> </ul>	機能追加	システム全般
4	対応するホストコードを 0x4141~0x7FFE から 0x4141~0xFEFE に変更	機能追加	システム全般
5	プリントサーバシステムのサービス以外の実行モジュールが実行中の場合は、アンインストールできない仕様に変更	仕様変更	インストーラ/ アンインストーラ
6	サービスで起動中のプリントサーバをアンインストールする場合、サービスの停止、サービス登録の解除を行い、アンインストールを続行することが選択できる機能を追加	機能追加	インストーラ/ アンインストーラ

No	概要	VerUp 区分	変更区分
7	印刷コマンドファイル(Print Command File : PCF)を利用しての印刷機能を追加 ・ PCF ファイルにプリンタ制御コードを登録し、プリンタへ出力することが可能 ・ IBM プリンタ定義ファイル(PDF)を利用しての印刷も可能 ・ 『印刷コマンドファイル・リファレンスマニュアル』をマスタ CD-ROM に追加	機能追加	プリンタ セッション/ ローカルコピー

No	概要	VerUp 区分	変更区分
8	インストール時、「設定の確認」画面の [戻る] ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ
9	プリントサーバのアンインストール失敗後、再びプリントサーバのアンインストーラを実行しようとしても、実行することができない現象を修正	バグ修正	インストーラ/ アンインストーラ
10	3270 と 5250 の共存環境でシステム終了を行うと、ディスプレイセッション終了処理途中で停止する可能性がある現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ
11	ホストリンクエクスプローラの右側ウィンドウからツールが起動できない現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ
12	ホストリンクエクスプローラのプロパティで、「高度な設定」の「「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正	バグ修正	ホストリンク エクスプローラ

No	概要	VerUp 区分	変更区分
13	前画面で漢字シフトオーダー(WRITE EXTENDED ATTRIBUTE)により漢字指定された画面位置の一部の文字が文字化け、または表示されない現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
14	全桁入力フィールドで全桁入力せずに一部の機能キーを押下しても、IBM iにエラーが送信されない現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
15	漢字フィールド指定を伴わない継続入力フィールドのデータを、漢字フィールドのデータとして送信する現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
16	複数の入力フィールドがある画面で、すべての入力フィールドの内容を送信する必要がある場合でも、データが入力されたフィールドの内容のみが送信される現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
17	入力フィールドの末尾が半角空白文字で埋められている場合、文字の挿入ができない現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
18	キーボードロック状態にならない場合がある現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
19	HOME 機能キーを使用した場合、カーソルが正しい位置に移動しない現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
20	全角のFIELD EXIT 要求フィールドで入力可能最終桁に文字を入力すると、カーソルが次のフィールドに移動する現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
21	符号付数字フィールドで入力可能最終桁に文字を入力するとカーソルが最終桁に残るが、その状態で続けて文字を入力してもエラーにならない現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
22	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
23	STARTPC コマンドの引数で指定された文字列に半角スペース文字が存在する場合、指定された実行コマンドが動作しないことがある現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション
24	STARTPC コマンドを実行すると、アプリケーションエラーとなる現象を修正	バグ修正	ディスプレイ セッション

No	概要	VerUp 区分	変更区分
25	プリントジョブスケジューラから印刷、またはプレビューを行うと、印刷データの最終行の4バイト目が全角文字に文字化けする現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
26	エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定後、プリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
27	「終了時の状態を保存」がオンの場合でも、「出力用紙サイズに最適化して印刷」設定が保存されない現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション
28	仮想環境で CPU リソースの割り当てが不足している場合、ダイレクト印刷、ローカルコピーを行うと印刷開始までに時間が掛かり、印刷速度が遅い現象を修正	バグ修正	プリンタ セッション/ ローカルコピー

No	概要	VerUp 区分	変更区分
29	「エミュレータのプロパティ」-「通信設定」-「接続先設定」画面の「メッセージ待ち行列名」、「ライブラリ名」設定に使用可能な半角文字が入力できない、または先頭に使用禁止の半角文字が入力できてしまう現象を修正	バグ修正	ツール
30	「エミュレータのプロパティ」の「プリンタ定義」、または「ローカルコピー設定」の「基本設定」で、31 文字以上のプリンタ名を指定した場合、出力先プリンタのプロパティの設定が保存されない現象を修正	バグ修正	ツール
31	「サービス設定」ツールの画面で、項目名”パスワードの確認”の誤記を修正	バグ修正	ツール
32	UPF 設定で指定した以下の略号が入れ替わって動作する現象を修正 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ CrBnk (%K)</li> <li>・ SpEOF (%L)</li> </ul>	バグ修正	ツール
33	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正	バグ修正	ツール
34	コードテーブル設定で、PC コードの入力指定に”区点 JIS コード”を設定し文字コード変換の「登録」を行うと、登録確認メッセージに区点 JIS コードが正しく表示されない現象を修正	バグ修正	ツール

No	概要	VerUp 区分	変更区分
35	<p>「エミュレータのプロパティ」の状況依存ヘルプの誤記を修正</p> <p>「nLPI の印刷方式」－「行数基準」の有効範囲の上限          誤：128 行          正：255 行</p>	説明修正	ヘルプ
36	<p>オンラインヘルプ「プリンタセッション」－「プリンタセッションの状態表示」－「メッセージ」で、「プリンタ初期化失敗」のヘルプが参照できない現象を修正</p>	説明修正	ヘルプ
37	<p>オンラインヘルプ「エミュレータのプロパティ」－「ディスプレイの設定」－「詳細設定」で、「数字用キーロック」に関するヘルプの誤記を修正</p>	説明修正	ヘルプ

No.8	インストール時、「設定の確認」画面の[戻る]ボタンで「ショートカットを選択」画面に戻った場合、「ショートカットを選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る現象を修正
発生条件	以下の操作を行った場合。 ①「ショートカットの選択」画面でチェックボックスをオフに変更 ②「設定の確認」画面に遷移 ③「ショートカットの選択」画面に戻る
障害内容	「ショートカットの選択」画面でオフに変更していたチェックボックスがオンに戻る。
アップデート 未実施時の 回避策	「ショートカットの選択」画面で設定内容を再設定する。

No.9	プリントサーバのアンインストール失敗後、再びプリントサーバのアンインストールを実行しようとしても、実行することができない現象を修正
発生条件	プリントサーバのアンインストールを実行し、アンインストールに失敗した場合。
障害内容	プリントサーバのアンインストールができない。
アップデート 未実施時の 回避策	OS 再起動後、再インストールを行い、プリントサーバシステムがすべて停止した状態で、再度アンインストールを行う。

No.10	3270 と 5250 の共存環境でシステム終了を行うと、ディスプレイセッション終了処理途中に停止する現象がある現象を修正
発生条件	3270、5250 の各ディスプレイセッションを起動した状態で、3270、あるいは 5250 のディスプレイセッション、またはプリンタセッションからシステム終了した場合。
障害内容	プリントサーバが終了できない場合がある。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.11	ホストリンクエクスプローラの右側ウィンドウからツールが起動できない現象を修正
発生条件	ホストリンクエクスプローラで以下の手順を実行した場合。 ①「ツール」メニューから「保守ユーティリティ」を起動 ②右側ウィンドウから「データ転送設定」、または「データ転送」を起動
障害内容	ホストリンクエクスプローラの右側ウィンドウから「データ転送システム設定」、または「データ転送パネル」が起動できない。 下記メッセージが表示される。 「ツールの起動に失敗しました。(WinExec)」
アップデート未実施時の回避策	「エミュレータ保守」の終了後に、「データ転送設定」、または「データ転送」を起動する。

No.12	ホストリンクエクスプローラのプロパティで、「高度な設定」の「「エミュレータのプロパティ」の表示」チェックがオフの場合、プロパティメニューが選択不能（グレー表示）にならない現象を修正
発生条件	ホストリンクエクスプローラのプロパティにある「高度な設定」の「カスタマイズ」タブで、「エミュレータのプロパティ」の表示」のチェックがオフの場合。
障害内容	「エミュレータのプロパティ」を非表示に設定できない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.13	前画面で漢字シフトオーダー(WRITE EXTENDED ATTRIBUTE)により漢字指定された画面位置の一部の文字が文字化け、または表示されない現象を修正
発生条件	前画面で漢字シフトオーダー(WRITE EXTENDED ATTRIBUTE)により漢字指定された画面位置に対し、上書きで漢字イン・アウト (SO/SI) 属性指定の全角文字を受信した場合。
障害内容	一部の文字が文字化け、または表示されない。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.14	全桁入力フィールドで全桁入力せずに一部の機能キーを押下しても、IBM i にエラーが送信されない現象を修正
発生条件	<p>全桁入力フィールドで、全桁入力していない状態で以下の機能キーを押下した場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PF キー</li> <li>・HOME キー</li> <li>・タブ・ワードキー</li> <li>・後退タブ・ワードキー</li> <li>・ロールアップキー</li> <li>・ロールダウンキー</li> <li>・ホスト印刷キー</li> </ul>
障害内容	<p>全桁入力フィールドで全桁入力せずに一部の機能キーを押下しても IBM i にエラーが送信されず、以下の動作となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PF キー</li> <li>・ロールアップキー</li> <li>・ロールダウンキー</li> <li>・ホスト印刷キー           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ AID + 画面データを送信</li> </ul> </li> <li>・HOME キー</li> <li>・タブ・ワードキー</li> <li>・後退タブ・ワードキー           <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ カーソル移動</li> </ul> </li> </ul>
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.15	漢字フィールド指定を伴わない継続入力フィールドのデータを、漢字フィールドのデータとして送信する現象を修正
発生条件	漢字フィールド指定を伴わない継続入力フィールドに文字を入力して、画面データをホストに送信する場合。
障害内容	ホストに送信されるデータに SO、SI が付加される。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.16	複数の入力フィールドがある画面で、すべての入力フィールドの内容を送信する必要がある場合でも、データが入力されたフィールドの内容のみが送信される現象を修正
発生条件	ディスプレイセッションで以下の手順を実行した場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・画面上に複数の入力フィールドを生成する「WRITE TO DISPLAY」コマンドを受信</li> <li>・その後、「READ IMMEDIATE」コマンドを受信</li> <li>・複数の入力フィールドのうち、一部のみデータ入力</li> <li>・実行キー押下</li> </ul>
障害内容	すべての入力フィールドのデータではなく、一部のデータしか送信されない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.17	入力フィールドの末尾が半角空白文字で埋められている場合、文字の挿入ができない現象を修正
発生条件	入力フィールドの末尾が半角空白文字で埋められている場合に、文字を挿入する。
障害内容	入力フィールドに文字が挿入できない。
アップデート 未実施時の 回避策	入力フィールドの末尾にある半角空白文字を削除し文字を挿入する。

No.18	キーボードロック状態にならない場合がある現象を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オPCODEに 0x03（書き込み/読み込みオペレーション）が指定されている</li> <li>・WRITE TO DISPLAY データでキーボードロック解除が指定されていない</li> </ul>
障害内容	キーボードロック解除が指定されていないデータを受信しても、キーボードロック状態にならない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.19	HOME 機能キーを使用した場合、カーソルが正しい位置に移動しない現象を修正
発生条件	以下のいずれかの条件を満たしている場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーソル位置(IC オーダー)が指定されていない、かつ 1 行 1 桁目以外に無保護フィールドがある</li> <li>・補足空白位置にカーソル位置が指定されている</li> </ul>
障害内容	カーソル位置(IC オーダー)が指定されていない、かつ 1 行 1 桁目以外に無保護フィールドがある場合は、1 行 1 桁目にカーソル移動し、補足空白位置にカーソル位置が指定されている場合は、次行の補足空白位置の次の桁に移動する。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.20	全角の FIELD EXIT 要求フィールドで入力可能最終桁に文字を入力すると、カーソルが次のフィールドに移動する現象を修正
発生条件	全角の FIELD EXIT 要求フィールドで、入力可能最終桁に文字を入力した場合。
障害内容	カーソルが次のフィールドに移動する。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.21	符号付数字フィールドで入力可能最終桁に文字を入力するとカーソルが最終桁に残るが、その状態で続けて文字を入力してもエラーにならない現象を修正
発生条件	符号付数字フィールドで、入力可能最終桁に続けて文字を入力した場合。
障害内容	入力可能最終桁への連続文字入力がエラーにならない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.22	ディスプレイセッションに表示される文字が粗く見える現象を修正
発生条件	「MS 明朝」のようなセリフ付きフォントが選択されている場合。
障害内容	ディスプレイの表示文字を拡大すると文字が粗く見える。
アップデート 未実施時の 回避策	フォントを「MS ゴシック」のようなセリフなしフォントに変更する。

No.23	STARTPC コマンドの引数で指定された文字列に半角スペース文字が存在する場合、指定された実行コマンドが動作しないことがある現象を修正
発生条件	<p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半角スペースで区切られた文字列を1つのトークンとして処理</li> <li>・STARTPC コマンドで指定されるパラメータの先頭に、START のような、コマンド・プロンプトを起動する Windows の Shell コマンドを指定</li> <li>・BAT ファイルなどの引数に、半角スペースを含む文字列を指定</li> </ul>
障害内容	STARTPC コマンドで指定された実行コマンドが動作しない。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.24	STARTPC コマンドを実行すると、アプリケーションエラーとなる現象を修正
発生条件	<p>以下のいずれかの条件を満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・STARTPC コマンドで8個以上の引数を設定した場合</li> <li>・以下の3つの合計が1024バイト以上の場合           <ul style="list-style-type: none"> <li>現在のシステム環境変数「Path」に登録されているバイト数</li> <li>エミュレータの共通フォルダ名のバイト数</li> <li>エミュレータの接続別フォルダ名のバイト数</li> </ul> </li> </ul>
障害内容	STARTPC コマンドを実行すると、アプリケーションエラーとなる。
アップデート 未実施時の 回避策	特になし。

No.25	プリントジョブスケジューラから印刷、またはプレビューを行うと、印刷データの最終行の4バイト目が全角文字に文字化けする現象を修正
発生条件	<p>プリントジョブスケジューラを使用しての印刷、またはプレビューで、以下のいずれかの条件を満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷データの最終行の4バイト目が空白以外の半角文字</li> <li>・印刷データの最終行の4バイト目が空白の半角文字で、5バイト目が空白以外の半角文字</li> <li>・印刷データの最終行の4バイト目が空白の半角文字で、5バイト目が空白以外の全角文字</li> </ul>
障害内容	一部の半角文字が全角文字に文字化けする。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.26	エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定後、プリントサーバシステムをサービス起動すると、印刷ができない現象を修正
発生条件	<p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントサーバシステムをサービスで起動</li> <li>・エミュレータのプロパティのプリンタ定義で不正なコードテーブル差分ファイルを設定</li> </ul>
障害内容	印刷要求しても印刷されない。
アップデート未実施時の回避策	正しいコードテーブル差分ファイルを設定する。

No.27	「終了時の状態を保存」がオンの場合でも、「出力用紙サイズに最適化して印刷」設定が保存されない現象を修正
発生条件	<p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントサーバシステムをサービス以外で起動</li> <li>・プリンタセッションの「ファイル」－「終了時の状態を保存」メニューのチェックがオン</li> <li>・プリンタセッションからエミュレータのプロパティを表示し、「出力用紙サイズに最適化して印刷」の設定を変更(無効・有効)後、プリンタセッションを再起動</li> </ul>
障害内容	「出力用紙サイズに最適化して印刷」の設定変更が保存できない。
アップデート未実施時の回避策	ツールパネル内の「エミュレータのプロパティ」で「出力用紙サイズに最適化して印刷」の設定を変更後、プリンタセッションを起動する。

No.28	仮想環境で CPU リソースの割り当てが不足している場合、ダイレクト印刷、ローカルコピーを行うと印刷開始までに時間が掛かり、印刷速度が遅い現象を修正
発生条件	仮想環境の CPU リソース割り当てが不足している場合。
障害内容	ダイレクト印刷、ローカルコピーを行うと印刷開始までに時間が掛かり、印刷速度が遅い。
アップデート未実施時の回避策	CPU リソースの割り当てを増やす。

No.29	「エミュレータのプロパティ」－「通信設定」－「接続先設定」画面の「メッセージ待ち行列名」、「ライブラリ名」設定に使用可能な半角文字が入力できない、または先頭に使用禁止の半角文字が入力できてしまう現象を修正
発生条件	<p>「エミュレータのプロパティ」－「通信設定」－「接続先設定」画面の「メッセージ待ち行列名」、「ライブラリ名」設定に、以下の文字を入力した場合。</p> <p>「メッセージ待ち行列名」</p> <p>入力できない文字：半角文字' \$' ' @' ' #' ' . ' ' _'</p> <p>入力できてしまう文字：先頭に半角数字' 0~9'</p> <p>「ライブラリ名」</p> <p>入力できない文字：半角文字' \$' ' @' ' #' ' . ' ' *' ' _'</p> <p>入力できてしまう文字：先頭に半角数字' 0~9'</p>
障害内容	「メッセージ待ち行列名」、「ライブラリ名」設定に、使用可能な半角文字が入力できない、または先頭に使用禁止の半角文字が入力できる。
アップデート未実施時の回避策	入力できない半角文字は、コピー&ペーストで貼り付け設定する。 先頭文字に使用禁止の半角文字がある場合は削除する。

No.30	「エミュレータのプロパティ」の「プリンタ定義」、または「ローカルコピー設定」の「基本設定」で、31 文字以上のプリンタ名を指定した場合、出力先プリンタのプロパティの設定が保存されない現象を修正
発生条件	<p>以下の条件をすべて満たしている場合。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・編集形式が「Windows プリンタドライバ」、または「Windows プリンタドライバ (枠線あり)」(ローカルコピー設定のみ)</li> <li>・プリンタ名が 31 文字以上</li> <li>・詳細設定の「セッション起動時に出力先プリンタ設定の反映」をチェックし、プリンタドライバ設定を保存</li> </ul>
障害内容	印刷時、プリンタドライバの設定が有効とならない。
アップデート未実施時の回避策	プリンタ名を 30 文字以内に変更する。

No.31	「サービス設定」ツールの画面で、項目名”パスワードの確認”の誤記を修正
発生条件	サービス設定「サービスの登録」、または「サービス設定の変更」画面を表示した場合。
障害内容	サービス設定「サービスの登録」画面、および「サービス設定の変更」画面の表示に誤記がある。 <誤> パスワードの確認(R) <正> パスワードの確認(R)
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.32	UPF 設定で指定した以下の略号が入れ替わって動作する現象を修正 ・ CrBnk (%K) ・ SpEOF (%L)
発生条件	UPF ボタンにエミュレータ機能キー「CrBnk」、または「SpEOF」を割り当てた場合。
障害内容	「CrBnk」を割り当てたボタンで「SpEOF」が動作する。 または「SpEOF」を割り当てたボタンで「CrBnk」が動作する。
アップデート未実施時の回避策	該当するキーを UPF に設定する際に名前を入れ替えて付ける。 [CrBnk (%K) ⇔ SpEOF (%L)]

No.33	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう現象を修正
発生条件	コードテーブル設定で以下の手順を実行した場合。 ①テーブルの最後の数文字（2バイトコード：2文字、1バイトコード：4文字）の割り当てを変更 ②「ファイル」メニューから「新規作成」を選択して差分ファイルを新規作成
障害内容	コードテーブル設定でコードの割り当てを変更後にファイルの新規作成をすると、一部の割り当て設定が残ってしまう。
アップデート未実施時の回避策	「新規作成」で継続して設定を行う代わりに、一旦コードテーブル設定を再起動してから設定を行う。

No.34	コードテーブル設定で、PC コードの入力指定に” 区点 JIS コード” を設定し文字コード変換の「登録」を行うと、登録確認メッセージに区点 JIS コードが正しく表示されない現象を修正
発生条件	PC コードの入力指定が” 区点 JIS コード” で、文字コード変換の登録を行う場合。
障害内容	登録確認メッセージに不正なコードで区点 JIS コードが表示される。
アップデート未実施時の回避策	特になし。

No.35	「エミュレータのプロパティ」の状況依存ヘルプの誤記を修正
変更内容	<p>ローカルコピー、およびプリンタ設定の「nLPI の印刷方式」の状況依存ヘルプの誤記を修正。</p> <p>「nLPI の印刷方式」－「行数基準」の有効範囲の上限</p> <p>誤：128 行</p> <p>正：255 行</p>
参照先	<p>「エミュレータのプロパティ」の下記の状況依存ヘルプ内容に誤記がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「セッション設定」タブ－「ローカルコピー設定」</li> <li>    「基本設定」タブ－「nLPI の印刷方式」</li> <li>・「プリンタ定義」タブ</li> <li>    「プリンタ定義」を選択－ [設定] ボタン</li> <li>    「基本設定」タブ－「nLPI の印刷方式」</li> </ul>
No.36	オンラインヘルプ「プリンタセッション」－「プリンタセッションの状態表示」－「メッセージ」で、「プリンタ初期化失敗」のヘルプが参照できない現象を修正
変更内容	<p>「プリンタ初期化失敗」のヘルプが参照できない。</p>
参照先	<p>オンラインヘルプ「プリンタセッション」－「プリンタセッションの状態表示」－「メッセージ」で「プリンタ初期化失敗」</p>

No.37	オンラインヘルプ「エミュレータのプロパティ」－「ディスプレイの設定」－「詳細設定」で、「数字用キーロック」に関するヘルプの誤記を修正
変更内容	「数字用キーロック」の説明に誤りがある。 <誤> 使用する : 数字 (0~9)、記号 (.-)、DUP のみが入力可能 修正型で使用する : [使用する] のキーに加え、スペース、記号 (,#) が入力可能 <正> 使用する : 数字 (0~9)、記号 (.-)、スペース、DUP のみが入力可能 修正型で使用する : [使用する] のキーに加え、記号 (#) が入力可能
参照先	オンラインヘルプ「エミュレータのプロパティ」－「ディスプレイの設定」－「詳細設定」の「数字用キーロック」

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

5250 プリントサーバ  
TCPLink 接続  
バージョン 5.01 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「5250 プリントサーバ (TCPLink 接続) (Ver.4.10-01/PS→Ver.5.01-01/PS)」  
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
  - ・ Microsoft Windows Server 2003
  - ・ Microsoft Windows Server 2003 x64
  - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2
  - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 x64

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ◎セッションを起動するショートカットをデスクトップに作成できるようにしました。

[TCPLink 関連]

- ◎エミュレータのプロパティの「通信設定」－「詳細設定」に「telnet キーブアライブ」を追加し、コマンドとタイマを設定できるようにしました。また、「キーブアライブ」を「TCP/IP キーブアライブ」に名称変更しました。

[ディスプレイ機能関連]

- ◎画面サイズが変更された場合、指定されているフォントサイズを基準にウィンドウサイズを拡大／縮小して表示できるようにしました。

[ユーティリティ関連]

- ◎エミュレータのプロパティの「通信設定」－「設定」でデバイス名に「\$」、「@」、「#」、「\_」を使用できるようにしました。

## [保守機能関連]

◎ 「エミュレータ保守」の保守機能を強化しました。

また、各種ツールの保守機能を「エミュレータ保守」に統合しました。

<主な機能>

- ・各種トレースの採取設定
- ・各種トレースの詳細設定（ファイルサイズ、ファイル数、採取レベル）
- ・各種ログの採取
- ・トレース／ログの総出力サイズ、および出力先ドライブの空き容量の表示
- ・情報収集

これにより、エミュレータのプロパティの「保守設定画面」は削除しました。

## [改修項目]

以下の問題点を改修しました。

### [インストーラ関連]

- ・以下の OS でインストールパスを変更してインストールすると、スタート画面からホストリンクエクスペローラが起動できない。
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter
- ・バージョンアップインストールを行うと、正常にインストールが完了しているにもかかわらず、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」というメッセージが表示されることがある。

### [ディスプレイ機能関連]

- ・半角文字が入力されている混在フィールドの先頭から挿入モードで全角文字を入力すると、不正な縦罫線が表示されることがある。
- ・入力フィールドが複数ある画面で英小文字の u のキーを押下し続けると、時々英大文字の U が入力される。
- ・機能キーを登録した UPF キーをアサインした状態で実行されない機能キーある。

### [プリンタ機能関連]

- ・プリンタ定義で出力先を「通常使うプリンタ」に設定している場合に、プリンタセッションで「終了時の状態保存」を ON にしてプリンタセッションを終了し、OS の「通常使うプリンター」を削除／名称変更するとプリンタセッションが起動できない。
- ・横倍指定のオーダを受けると、標準サイズに戻すオーダを受けても、横倍のまま出力される。
- ・80 バイト以上のプリンタ名のプリンタを使用すると、アプリケーションエラーが発生する。  
※使用するプリンタのプリンタ名は、79 バイト以内で設定してください。
- ・出力先プリンタに ClassDriver を設定した場合、プリンタセッションの起動に失敗する。

### [ユーティリティ関連]

- ・コード変換テーブル（送信：JIS83→ホスト）の初期値の誤りを修正しました。  
対象 JIS コード：0x8D3F～0x8D48、0x8D4E～0x8D57、0x9175、0x917A、0x3937、0x9452
- ・プリントジョブスケジューラ設定でプリントジョブ出力後の処理に「指定時間後に削除」を指定しているにもかかわらず、設定した指定時間を過ぎた情報が残ることがある。

#### [保守機能関連]

- ・レジストリ保守ツールで [ファイル出力] をした場合、以下の項目が出力されない。
  - ・IPv6
  - ・マクロコントローラの表示

#### [オンラインヘルプ]

- ・エミュレータ監視ツールのオプションダイアログで、状況依存ヘルプが表示されない項目がある。

#### [制限事項]

- ・Ver.4.10-01/PS より前のバージョンのプリントサーバとの共存はできません。
- ・TCPLink スタンダード/DirectLink との共存はできません。

## [その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

### サーバ仮想化

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.5	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2	○	—
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

### <前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作する必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

5250 プリントサーバ  
TCP Link 接続  
バージョン 4.10 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「5250 プリントサーバ (TCP Link 接続)」(Ver.4.02-01/PS→Ver.4.10-01/PS)  
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[概要]

- ・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS に対応しました。
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
- ※32 ビット版アプリケーションとして動作します。
- ※デスクトップ・アプリケーションとしての動作を保証します。
- ※Windows Server 2012 の Server Core 機能での動作には対応していません。
- ※Windows Server 2012 の最小サーバー・インターフェイス構成での動作は保証していません。

- ◎IPv6 に対応しました。

[プリンタ機能関連]

- ◎編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

	代替文字
・   (PC コード : 0x7F)	→
・ ~ (PC コード : 0xFF)	→ ~

[ディスプレイ機能関連]

- ◎以下の画面サイズをサポートしました。
  - ・ 27×132

◎以下の機能キーをサポートしました。

- ・範囲移動↑
- ・範囲移動↓
- ・範囲移動←
- ・範囲移動→

※以下の機能には対応していません。

- ・ディスプレイセッションのツールボタン
- ・UPF
- ・エミュレータキーパッド

◎「挿入」キーの名称を「挿入切替」に変更しました。

◎ローカルコピーにおいて、編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の特殊文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

- |                     | 代替文字 |
|---------------------|------|
| ・   (PC コード : 0x7F) | →    |
| ・ ~ (PC コード : 0xFF) | → ~  |

### [ユーティリティ関連]

◎エミュレータのプロパティにおいて、通信設定の送受信バッファの初期値を「4096」に変更しました。

◎エミュレータのプロパティにおいて、ディスプレイ定義のカラー設定および属性設定の初期設定でメインフレームメーカーの純正エミュレータと同じ色に設定できるようにしました。

### [改修項目]

以下の問題点を改修しました。

#### [ディスプレイ機能関連]

- ・UPF キーパッドから「ジャンプ」キーまたは「前ジャンプ」キーが実行されると、セッションがハングアップする。
- ・UPF キーパッドのボタンが押下されると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・エミュレータキーパッドから機能キーの実行および文字の入力が行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・保護フィールドのみの画面で「後退」キーが押下されると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・不定様式画面で「タブ・ワード」キーまたは「後退タブ・ワード」キーが押下されると、セッションがハングアップする。
- ・1 画面データに入力不可の解除の可否を指定するオーダーが複数個含まれる場合に最後のオーダーの指定を有効としない。
- ・Repeat To Address オーダーを受信すると、オーダーで指定された範囲内のフィールドを消去してしまう。
- ・カーソルが DDS ウィンドウの先頭のメニュー項目から最後のメニュー項目の間、かつメニュー項目上以外にある状態で以下の機能キーが押下されると、入力不可とせずに押下された機能キーの動作を実行して、カーソル位置から最後のメニュー項目までのメニュー項目と DDS ウィンドウ枠を消去してしまう。
  - ・Field Exit
  - ・Field +
  - ・Field -
- ・エミュレータキーパッドに機能キーの「前ジャンプ」がない。

## [ユーティリティ関連]

- ・リモート接続時など、エミュレータ監視ツールが二重起動されるとどちらも起動することがある。さらに、二重起動により、"HLEXPL32.EXE"のアプリケーションエラーが発生することがある。
- ・リモート接続時など、サービス設定ツールとエミュレータ監視ツールが同時に起動されるとどちらも起動することがある。
- ・エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、以下のショートカットキーでフォーカスが正しく移動しない。
  - ・ Alt+L
  - ・ Alt+B
  - ・ Alt+T
- ・レジストリ保守ツールの印刷機能およびファイル出力機能で、ソフトウェアスイッチの情報を正しく出力しないことがある。

以 上

Microsoft および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

5250 プリントサーバ  
TCP Link 接続  
バージョン 4.02 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「5250 プリントサーバ (TCP Link 接続)」(Ver.4.01-02/PS→Ver.4.02-01/PS)  
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
  - ・ Windows 2000 Server

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[システム全般]

- ・ ホストコード (6D82、7278) との対応づけに誤りがあったため、JIS78、JIS83、JIS90 について次のように修正しました。

ホストコード		JIS コード (シフト JIS コード)
6D82	→	876A (F48A)
7278	→	916A (F98A)
- ・ エミュレータが起動されたまま OS をシャットダウンすると、「プログラムが閉じられていません」のメッセージが表示され、メッセージ内の「強制的にシャットダウン」を選択するとアプリケーションエラーが発生する。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で、管理者権限のないユーザがホストリンクエクスプローラを起動した状態でサービスの一覧から「Host Link Explorer」を開始すると、ホストリンクエクスプローラが二重起動する。

[プリンタ機能関連]

- ・ 縦横 1/2 の縮小文字が正しい印刷位置より左に印刷される。
- ・ 文字の高さより広い改行幅の後に文字の高さより狭い改行幅が指定されると、文字が正しい印刷位置より上に印刷される。

- ・印刷行密度が以下の場合に、縦倍角文字の下側が二重に印刷される。
  - ・ 2LPI
  - ・ 3LPI
  - ・ 4LPI
  - ・ 6LPI
- ・未サポートの制御コードを含むデータを受信すると、"APEMU32.DLL"のアプリケーションエラーが発生する。

#### [ディスプレイ機能関連]

- ・ブリンクモードが“ブリンク”の場合に、ディスプレイセッションが応答しなくなることがある。
- ・送信フィールド、および ReadInputFields コマンドを含むデータを受信後、画面遷移ができなくなる。
- ・現在位置が 1 行 1 桁目の状態でフィールド長 1919 の START OF FILED コマンドを受信した後に返す画面情報が不正になる。
- ・入力フィールド数の上限は 256 であるにもかかわらず、入力フィールド数が 251～256 のデータに対して否定応答を返す。
- ・WRITE ERROR CODE コマンドを受信後、3270 エミュレーション画面データに対して否定応答を返す。
- ・Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で以下の条件をすべて満たす場合に、文字を入力すると、下線の一部や文字と隣り合った縦罫線が消えることがある。
  - ・Windows のデスクトップのカスタマイズで「ClearType」を有効にしている
  - ・エミュレータのディスプレイ定義で「直接描画方式」を指定している

#### [ユーティリティ関連]

- ・エミュレータのプロパティのディスプレイ定義で、コードテーブル定義の「JIS コード指定」が空欄になっていることがある。
- ・レジストリ保守で、レジストリの復元に失敗することがある。
- ・レジストリ保守で「Microsoft XPS Document Writer」に印刷すると、文字化けする。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**5250 プリントサーバ  
TCPLink 接続  
バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「5250 プリントサーバ (TCPLink 接続)」(Ver.3.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS)  
において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

**概要**

**[強化項目]**

以下の機能を強化しました。

**[システム全般]**

- ◎以下の OS に対応しました。
- ・ Windows Server 2008 Standard Edition
  - ・ Windows Server 2008 Standard x64 Edition
  - ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition
  - ・ Windows Server 2008 Enterprise x64 Edition

**[プリンタ機能関連]**

- ◎編集形式が IBM5575/5577 の場合、最大印刷行数 255 行まで印刷できるようにしました。

**[ユーティリティ関連]**

- ◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

**[改修項目]**

以下の問題点を改修しました。

**[ホストリンクエクスプローラ機能関連]**

- ・ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

**[プリンタ機能関連]**

- ・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・「データ待ち」の場合、改ページボタンを押下しても、最大印刷行数分改行されない。

**[ディスプレイ機能関連]**

- ・入力不可のままになることがある。

[ユーティリティ関連]

- ・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"Lodlib32.exe"のアプリケーションエラーが発生する。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**5250 プリントサーバ**  
**DirectLink DLC対応版**  
**バージョン 5.01 リビジョン01 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「5250 プリントサーバ (DirectLink DLC 対応版)」  
(Ver.4.10-01/PS→Ver.5.01-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので  
お知らせ致します。

敬具

記

**[強化項目]**

以下の機能を強化しました。

**[システム全般]**

- ◎以下の OS に対応しました。
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 Standard
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard
  - ・ Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter
  
- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
  - ・ Microsoft Windows Server 2003
  - ・ Microsoft Windows Server 2003 x64
  - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2
  - ・ Microsoft Windows Server 2003 R2 x64

**[ホストリンクエクスプローラ機能関連]**

- ◎セッションを起動するショートカットをデスクトップに作成できるようにしました。

**[DirectLink(DLC 接続)関連]**

- ◎CJS DLC ドライバが NDIS6.0 に対応しました。
  
  - ◎以下の操作を行った際に、LAN アダプタのアダプタ番号が変更されないようにしました。
    - ・ NIC(Network Interface Card)の着脱、または有効/無効の切り替え
    - ・ 「CJS DLC プロトコル」の有効/無効の切り替え ※1
- ※1：Windows Server 2008 の場合はローカル エリア接続のプロパティで、  
Windows Server 2012 の場合はイーサネットのプロパティで設定します。

**[ディスプレイ機能関連]**

- ◎画面サイズが変更された場合、指定されているフォントサイズを基準にウィンドウサイズを拡大/縮小して表示できるようにしました。

## [ツール関連]

◎CJSDLC ドライバ保守ツールのアダプタ番号表示画面に、CJSDLC ドライバの状態を表示するようにしました。

◎CJSDLC ドライバ保守ツールにサービス画面を追加し、以下の操作をできるようにしました。

- ・CJSDLC ドライバの開始/停止
- ・CJSDLC ドライバのファイル情報の参照

## [保守機能関連]

◎「エミュレータ保守」の保守機能を強化しました。

また、各種ツールの保守機能を「エミュレータ保守」に統合しました。

<主な機能>

- ・各種トレースの採取設定
- ・各種トレースの詳細設定（ファイルサイズ、ファイル数、採取レベル）
- ・各種ログの採取
- ・イベントログの設定（出力レベル）
- ・エラーログの設定（ファイルサイズ、ファイル数）
- ・トレース/ログの総出力サイズ、および出力先ドライブの空き容量の表示
- ・情報収集

これにより、エミュレータのプロパティの「保守設定画面」、および CJSDLC ドライバ保守の「トレース設定画面」は削除しました。

◎DLC 接続のスローダウンの発生状況をイベントログに出力するようにしました。

## [改修項目]

以下の問題点を改修しました。

### [インストーラ関連]

- ・バージョンアップインストールを行うと、正常にインストールが完了しているにもかかわらず、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります」というメッセージが表示されることがある。

### [DirectLink(DLC 接続)関連]

- ・DLC 接続で、送信ができず「お待ちください」が表示されたままになることがある。
- ・トレース出力によるディスク I/O 処理で遅延が発生した場合に、通信が切断されることがある。
- ・DLC 接続で、受信したコマンドのフレームタイプではなく、常に 802.3 形式と Ethernet V2 形式の両フレームタイプで TEST レスポンスおよび XID レスポンスを送信する。

### [ディスプレイ機能関連]

- ・半角文字が入力されている混在フィールドの先頭から挿入モードで全角文字を入力すると、不正な縦罫線が表示されることがある。
- ・入力フィールドが複数ある画面で英小文字の u のキーを押下し続けると、時々英大文字の U が入力される。
- ・機能キーを登録した UPF キーをアサインした状態で実行されない機能キーある。

### [プリンタ機能関連]

- ・プリンタ定義で出力先を「通常使うプリンタ」に設定している場合に、プリンタセッションで「終了時の状態保存」を ON にしてプリンタセッションを終了し、OS の「通常使うプリンター」を削除/名称変更するとプリンタセッションが起動できない。
- ・横倍指定のオーダーを受けると、標準サイズに戻すオーダーを受けても、横倍のまま出力される。
- ・80 バイト以上のプリンタ名のプリンタを使用すると、アプリケーションエラーが発生する。  
※使用するプリンタのプリンタ名は、79 バイト以内で設定してください。

### [ユーティリティ関連]

- ・コード変換テーブル（送信：JIS83→-host）の初期値の誤りを修正しました。  
対象 JIS コード：0x8D3F~0x8D48、0x8D4E~0x8D57、0x9175、0x917A、0x3937、0x9452
- ・プリントジョブスケジューラ設定でプリントジョブ出力後の処理に「指定時間後に削除」を指定しているにもかかわらず、設定した指定時間を過ぎた情報が残ることがある。

### [保守機能関連]

- ・レジストリ保守ツールで [ファイル出力] をした場合、以下の項目が出力されない。
  - ・通信システム設定項目
  - ・マクロコントローラの表示

### [オンラインヘルプ]

- ・エミュレータ監視ツールのオプションダイアログで、状況依存ヘルプが表示されない項目がある。

### [制限事項]

- ・Ver.4.10-01/PS より前のバージョンのプリントサーバとの共存はできません。
- ・TCPLink スタンダード/DirectLink との共存はできません。
- ・TCPLink ゲートウェイサーバとの共存はできません。
- ・3270 プrintサーバ DirectLink DLC 対応版との同時利用はできません。

## [その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

### サーバ仮想化

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.5	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○
Windows Server 2012 R2 Hyper-V	Microsoft Windows Server 2008 Standard SP2	○	—
	Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard SP1	—	○
	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	—	○

○：確認済み —：対象外

#### <注意事項>

##### ・DLC 接続について

- (1)弊社の確認作業では、VMware vSphere の仮想 NIC のタイプが「e1000」および「e1000e」の場合、通信が不安定になる現象が発生しました。VMware vSphere では、仮想 NIC のタイプを「vmxnet3」に設定することを推奨します。
- (2)チーミングした複数の仮想 NIC が同一の仮想スイッチに紐付けされている場合、ホストからの受信データが重複します。仮想スイッチと仮想 NIC は、1 対 1 となるように構成してください。
- (3)Windows Server 2012/2012 R2 で Hyper-V 上の仮想マシンにプリントサーバ(DLC 接続)稼働環境を構築する場合、マイクロソフト社が提供する修正プログラムを以下のページからダウンロードしてホスト OS に適用する必要があります。  
<http://support.microsoft.com/kb/2902821>
- (4)CPU 数は 2 以上に設定することを推奨します。

#### <前提条件>

仮想環境での利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**5250 プリントサーバ**  
**DirectLink DLC対応版**  
**バージョン 4.10 リビジョン01 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「5250 プリントサーバ (DirectLink DLC 対応版)」  
(Ver.4.02-01/PS→Ver.4.10-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので  
お知らせ致します。

敬具

記

## [概要]

- ・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

## [強化項目]

以下の機能を強化しました。

## [プリンタ機能関連]

- ◎編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

	代替文字
・   (PC コード : 0x7F)	→
・ ~ (PC コード : 0xFF)	→ ~

## [ディスプレイ機能関連]

- ◎以下の画面サイズをサポートしました。
  - ・ 27×132

- ◎以下の機能キーをサポートしました。

- ・ 範囲移動↑
- ・ 範囲移動↓
- ・ 範囲移動←
- ・ 範囲移動→

※以下の機能には対応していません。

- ・ ディスプレイセッションのツールボタン
- ・ UPF
- ・ エミュレータキーパッド

- ◎「挿入」キーの名称を「挿入切替」に変更しました。

- ◎ローカルコピーにおいて、編集形式が「テキスト」の場合、通常のフォントにはない以下の特殊文字をスペースではなく代替文字で出力するようにしました。

	代替文字
・   (PC コード : 0x7F)	→
・ ~ (PC コード : 0xFF)	→ ~

## [ユーティリティ関連]

- ◎エミュレータのプロパティにおいて、ディスプレイ定義のカラー設定および属性設定の初期設定でメインフレームメーカーの純正エミュレータと同じ色に設定できるようにしました。

## [改修項目]

以下の問題点を改修しました。

### [DirectLink(DLC 接続)関連]

- ・ネットワークの状態の切り替えにより、ブルースクリーンが表示されることがある。

### [ディスプレイ機能関連]

- ・UPF キーパッドから「ジャンプ」キーまたは「前ジャンプ」キーが実行されると、セッションがハングアップする。
- ・UPF キーパッドのボタンが押下されると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・エミュレータキーパッドから機能キーの実行および文字の入力が行われると、アプリケーションエラーが発生することがある。
- ・保護フィールドのみの画面で「後退」キーが押下されると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・不定様式画面で「タブ・ワード」キーまたは「後退タブ・ワード」キーが押下されると、セッションがハングアップする。
- ・1 画面データに入力不可の解除の可否を指定するオーダーが複数個含まれる場合に最後のオーダーの指定を有効としない。
- ・Repeat To Address オーダーを受信すると、オーダーで指定された範囲内のフィールドを消去してしまう。
- ・カーソルが DDS ウィンドウの先頭のメニュー項目から最後のメニュー項目の間、かつメニュー項目上以外にある状態で以下の機能キーが押下されると、入力不可とせずに押下された機能キーの動作を実行して、カーソル位置から最後のメニュー項目までのメニュー項目と DDS ウィンドウ枠を消去してしまう。
  - ・Field Exit
  - ・Field +
  - ・Field -
- ・ローカルコピーで、ディスプレイ定義で設定された文字モードと異なる文字モードで印刷することがある。
- ・エミュレータキーパッドに機能キーの「前ジャンプ」がない。

## [ユーティリティ関連]

- ・リモート接続時など、エミュレータ監視ツールが二重起動されるとどちらも起動することがある。さらに、二重起動により、"HLEXPL32.EXE"のアプリケーションエラーが発生することがある。
- ・リモート接続時など、サービス設定ツールとエミュレータ監視ツールが同時に起動されるとどちらも起動することがある。
- ・エミュレータスタイルの設定のツールバータブにおいて、以下のショートカットキーでフォーカスが正しく移動しない。
  - ・Alt+L
  - ・Alt+B
  - ・Alt+T
- ・レジストリ保守ツールの印刷機能およびファイル出力機能で、ソフトウェアスイッチの情報を正しく出力しないことがある。

#### [保守機能関連]

- ・セッションを起動した状態で NCP ログの採取ボタンが押下されると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・セッションを起動した状態で NCP ログの採取ボタンが押下されると、エミュレータシステムがハングアップすることがある。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

5250 プリントサーバ  
DirectLink DLC対応版  
バージョン 4.02 リビジョン01 /PS 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「5250 プリントサーバ (DirectLink DLC 対応版)」  
(Ver.4.01-02/PS→Ver.4.02-01/PS) において、下記のような改修を行いましたので  
お知らせ致します。

敬具

記

[強化項目]

以下の機能を強化しました。

[システム全般]

- ◎以下の OS を動作対象から除きました。
  - ・ Windows 2000 Server

[改修項目]

以下の問題点を改修しました。

[システム全般]

- ・ ホストコード (6D82、7278) との対応づけに誤りがあったため、JIS78、JIS83、JIS90 について次のように修正しました。

ホストコード		JIS コード (シフト JIS コード)
6D82	→	876A (F48A)
7278	→	916A (F98A)
- ・ エミュレータが起動されたまま OS をシャットダウンすると、「プログラムが閉じられていません」のメッセージが表示され、メッセージ内の「強制的にシャットダウン」を選択するとアプリケーションエラーが発生する。

[インストール関連]

- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で、DLC プロトコルドライバのインストール時に「プログラム互換性アシスタント」の警告が表示される。

[ホストリンクエクスプローラ機能関連]

- ・ Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で、管理者権限のないユーザがホストリンクエクスプローラを起動した状態でサービスの一覧から「Host Link Explorer」を開始すると、ホストリンクエクスプローラが二重起動する。

[プリンタ機能関連]

- ・ 縦横 1/2 の縮小文字が正しい印刷位置より左に印刷される。

- ・文字の高さより広い改行幅の後に文字の高さより狭い改行幅が指定されると、文字が正しい印刷位置より上に印刷される。
- ・印刷密度が以下の場合に、縦倍角文字の下側が二重に印刷される。
  - ・ 2LPI
  - ・ 3LPI
  - ・ 4LPI
  - ・ 6LPI
- ・未サポートの制御コードを含むデータを受信すると、"APEMU32.DLL"のアプリケーションエラーが発生する。

#### [ディスプレイ機能関連]

- ・ブリンクモードが“ブリンク”の場合に、ディスプレイセッションが応答しなくなることがある。
- ・送信フィールド、および ReadInputFields コマンドを含むデータを受信後、画面遷移ができなくなる。
- ・現在位置が 1 行 1 桁目の状態でフィールド長 1919 の START OF FILED コマンドを受信した後に返す画面情報が不正になる。
- ・入力フィールド数の上限は 256 であるにもかかわらず、入力フィールド数が 251~256 のデータに対して否定応答を返す。
- ・WRITE ERROR CODE コマンドを受信後、3270 エミュレーション画面データに対して否定応答を返す。
- ・Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 で以下の条件をすべて満たす場合に、文字を入力すると、下線の一部や文字と隣り合った縦罫線が消えることがある。
  - ・Windows のデスクトップのカスタマイズで「ClearType」を有効にしている
  - ・エミュレータのディスプレイ定義で「直接描画方式」を指定している

#### [ユーティリティ関連]

- ・エミュレータのプロパティのディスプレイ定義で、コードテーブル定義の「JIS コード指定」が空欄になっていることがある。
- ・レジストリ保守で、レジストリの復元に失敗することがある。
- ・レジストリ保守で「Microsoft XPS Document Writer」に印刷すると、文字化けする。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**5 2 5 0 プリントサーバ**  
**DirectLink DLC対応版**  
**バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「5250 プリントサーバ (DirectLink DLC 対応版)」  
(Ver.3.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS) において、下記のような改修を行いましたので  
お知らせ致します。

敬具

**概要**

**[強化項目]**

以下の機能を強化しました。

**[システム全般]**

- ◎以下の OS に対応しました。
- ・ Windows Server 2008 Standard Edition
  - ・ Windows Server 2008 Standard x64 Edition
  - ・ Windows Server 2008 Enterprise Edition
  - ・ Windows Server 2008 Enterprise x64 Edition

**[プリンタ機能関連]**

◎編集形式が IBM5575/5577 の場合、最大印刷行数 255 行まで印刷できるようにしました。

**[ユーティリティ関連]**

◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

**[改修項目]**

以下の問題点を改修しました。

**[ホストリンクエクスプローラ機能関連]**

- ・ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

**[プリンタ機能関連]**

- ・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・「データ待ち」の場合、改ページボタンを押下しても、最大印刷行数分改行されない。

[ユーティリティ関連]

- ・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"Lodlib32.exe"のアプリケーションエラーが発生する。

以 上

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

**5250 プリントサーバ**  
**DirectLink HIS対応版**  
**バージョン 4.01 リビジョン02 /PS 変更内容について**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「5250 プリントサーバ (DirectLink HIS 対応版)」  
(Ver.2.50-01/PS→Ver.4.01-02/PS) において、下記のような改修を行いましたので  
お知らせ致します。

敬具

**概要**

**[強化項目]**

以下の機能を強化しました。

**[プリンタ機能関連]**

◎編集形式が IBM5575/5577 の場合、最大印刷行数 255 行まで印刷できるようにしました。

**[ユーティリティ関連]**

◎リモートデスクトップ接続でも「コンソール・セッション」へ接続することなく、エミュレータ監視ツールを操作できるようにしました。

**[改修項目]**

以下の問題点を改修しました。

**[ホストリンクエクスプローラ機能関連]**

- ・ホストリンクエクスプローラの非表示起動、またはエミュレータ終了時の自動終了を設定している場合、エミュレータ監視ツールから最後のセッションを終了した後、セッションが起動できなくなる。

**[プリンタ機能関連]**

- ・「プリンタセッション終了」のメッセージボックス表示中に、ディスプレイセッションからエミュレータ終了すると、アプリケーションエラーが発生する。
- ・「データ待ち」の場合、改ページボタンを押下しても、最大印刷行数分改行されない。

**[ユーティリティ関連]**

- ・異なるプリンタドライバを同じプリンタ名で入れ替えた場合、エミュレータのプロパティのプリンタ定義を開こうとすると、"Lodlib32.exe"のアプリケーションエラーが発生する。

以 上